



▲加西を離れても、心はひとつ。笑顔で集う東京加西会の皆さん

再会に笑顔 東京で広がる加西の輪

10月11日、関東地区在住の加西市出身者やゆかりの方々が集う「東京加西会」(後藤基廣会長)の総会が、全国家電会館(東京都文京区)で開かれ、43人の会員が久しぶりの再会を喜び合い親睦を深めました。互いの近況報告を通じて、故郷への熱い想いと絆を再確認する貴重な機会となりました。総会に先立ち、北条高校同窓会東京支部会も開催され、旧交を温めました。



▲一台ずつ丁寧に点検を行いました(写真は北条中学校)

みんなで守る通学安全 自転車点検を実施

10月9・16日、加西市自転車軽自動車商業協同組合、加西警察署、加西交通安全協会と市は、整備不良による自転車事故を防ぐため、市内4中学校でブレーキやライトを中心に、通学用自転車点検を実施しました。同協会組合長の有田政義さんは「毎年の大切な点検。安全に6年間乗れるよう、販売から修理までしっかり見守ります」と意気込みを話されました。



▲飲食ブースは、早々に売り切れる店がでるほど人手が多く見られました

祝 30周年 善防公民館

10月25・26日に善防公民館まつりが開催されました。創立30周年を記念して、式典や記念事業が行われたほか、公民館登録グループによるステージ発表や作品展示、ポップコーンの販売などの料理バザー、花苗などの作品バザーといった多彩な催しが行われました。子どもから大人まで多くの方が集い、にぎやかに節目の年を祝いました。



▲(左から)山下医師、生田肇院長、新病院建設推進室長、加西病院サポーターの会副会長



▲式典では善防中学校が製作したくす玉を割り、創立30周年の節目を祝いました(左から大豊康臣県議、高橋市長、古角一朗会長、菅野教育長)

新加西病院と地域医療 将来を考える

10月25日、神戸大学と加西病院サポーターの会が市民医療フォーラムを開催しました。健康講座や新加西病院の建設計画の説明や、神戸大学大学院教授・山下智也医師(加西市出身)による「変わる覚悟と準備を始めましょう」と題した講演も行われ、変化する医療環境の中で求められる新加西病院の在り方や地域医療の将来を共に考える有意義な機会となりました。

時を刻む芸術 盆栽が伝える奥深い魅力

10月24日から26日まで、「第59回加西市盆栽展」がアスティアかさいで開催され、計320人が来場しました。加西市盆栽研究会の会員が丹精込めて育てた個性豊かな盆栽22点が並び、中央公民館の親子盆栽教室作品8点も展示されました。加西市盆栽研究会の大西一正会長は、「盆栽は自然の情景を表すもので、50年かけても終わりが無い」と奥深さを語られました。



▲自然の雄大さや繊細さを表現した作品に見入っている来場者

未来へつなぐ北条の心 北条小5年

北条小学校5年生64人が、9月26日に地域と連携した総合学習「節句祭り」と街づくりを行いました。学校周辺にはさまざまな歴史ある文化財があります。その中でも、身近な「北条節句祭り」に焦点を当て、住吉神社宮司や保存会など地域の方6人をゲストティーチャーに招き、祭りの歴史、意義、伝統を受け継ぐ方の思いについて学びました。



▲住吉神社林垂栄宮司(左から4番目)や北条節句祭り保存会などから話を聞く児童たち

気球シーズン開幕 愛好家ら安全祈願

11月1日、加西市地域活性化拠点施設「sora かさい」(鵜野町)で「ソラビラキ」が執り行われ、気球チームのメンバーら約30人が今シーズンの気球飛行の安全を祈願しました。これから来月5月上旬まで、主に週末の早朝に気球が加西の空を彩ります。加西ならではの美しい風景をお楽しみください。



▲空の安全を祈願する関係者たち



▲お茶の心に触れ、穏やかな時間を過ごす参加者たち

秋の夜長に心和む 「加西観月茶会」

10月4日、アスティアかさいで加西市茶道協会主催のお茶席が開催されました。澄の里会の是常宗里により、一服一服丁寧に点てられたお茶が振る舞われました。約230人の参加者は、会場に流れる琴や尺八の音色に耳を傾けながら、茶の湯のわび・さびと美しい秋の夕べの風情を心ゆくまで楽しんでいました。



▲料理を受け取る人々の笑顔が溢れ、多文化交流の活気あふれるひとときとなりました

国際色豊かに 多文化共生を目指す

10月5日、多文化共生施設「加西市グローバルセンター」のオープンを祝う「グローバルフェスタ2025」がアスティアかさいで開催されました。9カ国の料理提供や、市内在住の外国人によるネパール伝統舞踊などが披露されました。大野聖佳センター長は「国籍や文化の垣根を越えた交流を深め合える場所にしたい」と意気込みを語られました。